



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 株式会社クロップス 上場取引所 名  
 コード番号 9428 URL http://www.crops.ne.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 正明  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部門担当 (氏名)飯田 長 (TEL)052(588)5640  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,755	16.0	151	△40.1	151	△43.3	33	△75.2
24年3月期第1四半期	4,960	23.1	252	△13.5	266	△1.9	134	13.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 41百万円(△72.4%) 24年3月期第1四半期 151百万円(17.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.47	—
24年3月期第1四半期	12.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	10,600	3,205	28.5
24年3月期	10,876	3,183	27.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,023百万円 24年3月期 3,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,056	7.7	351	△26.2	341	△29.8	157	△36.5	16.32
通期	22,979	4.8	790	5.3	769	1.2	362	9.5	37.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1 社 (社名) 克龍風速上海商貿有限公司、除外 1 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 5 ページ「サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期1Q	10,838,000株	24年3月期	10,838,000株
25年3月期1Q	1,221,003株	24年3月期	1,220,958株
25年3月期1Q	9,617,015株	24年3月期1Q	10,837,800株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 4 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) セグメント情報等 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの着実な復興が進み、生産活動の急速な回復や個人消費の堅調さなど、緩やかな回復の兆しが見られたものの、欧州ソブリン問題が引き続き大きなリスク要因として残っており、円高の長期化や今後の電力供給不安等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、移動体通信事業におきましては、移動体通信事業者各社における低廉な料金サービスの提供、スマートフォンやタブレット端末等のデバイスの多様化、音楽・映像・電子書籍等のコンテンツサービスの広がり等により顧客獲得に向けた競争はますます激しくなっております。

人材派遣事業につきましては、エコカー補助金制度による自動車需要の回復等により有効求人倍率に改善が見られる一方で、引き続き完全失業率は高水準で推移しており、東海地区の人材派遣市場も依然として厳しい状況が続いております。

ビルメンテナンス事業につきましては、顧客企業のコスト削減意識が依然として強く、値下げ要請による単価の下落や同業他社との価格競争の激化が続いております。

飲食店舗居抜き流通事業につきましては、首都圏への出店希望需要は強く、出店費用を抑制できる居抜き出店、店舗貸借時に信用を補完できるサブリースとも好調に推移しております。

文具事務用品卸事業につきましては、雇用環境の悪化や所得環境の停滞が続いたことによる消費者の節約志向の定着により、リーズナブルな商品の需要が堅調に推移しております。

このような市場環境にあつて当社グループは既存顧客の確保と新規顧客の開拓に注力した営業活動を展開してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高5,755,649千円（前年同期比16.0%増）となりました。損益面におきましては営業利益151,188千円（前年同期比40.1%減）、経常利益151,030千円（前年同期比43.3%減）、四半期純利益33,390千円（前年同期比75.2%減）となりました。

セグメント別の概況は、次の通りであります。

#### ①移動体通信事業

移動体通信事業におきましては、スマートフォンの本格的な普及と商機を生かした販売促進施策の強化により、スマートフォン、タブレット端末等の販売が好調に推移し、新規販売台数が増加いたしました。

しかしながら、販売促進施策の強化による販売促進費の増加及び販売機会のさらなる獲得に向けた店舗（auショップ41店舗）の営業時間延長による人件費の増加等により、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

なお、総合的な営業力強化のため、平成24年6月に「auショップ豊田高橋（愛知県豊田市）」のリニューアルを実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、3,062,245千円（前年同期比28.2%増）、営業利益は55,852千円（前年同期比61.8%減）となりました。

## ②人材派遣事業

人材派遣事業におきましては、エコカー補助金制度による自動車需要の回復等により、製造業向けの特定派遣が堅調に推移したものの、業務請負については、地デジ商戦の反動でF T T H等光回線販売が減少しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、514,804千円（前年同期比4.6%減）、営業利益は13,841千円（前年同期比57.8%減）となりました。

## ③ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業におきましては、取引先からの値引き要請は強いものの、既存顧客の深耕及び大手取引先との良好な取引実績を生かした新規顧客の開拓を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、863,927千円（前年同期比6.8%増）、営業利益は26,465千円（前年同期比1.4%減）となりました。

## ④飲食店舗居抜き流通事業

飲食店舗居抜き流通事業におきましては、震災等の影響により減退していた新規出店意欲が回復しており、飲食店舗の開店・閉店支援サービスの契約件数、サブリースの管理物件数とも、好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、402,323千円（前年同期比14.9%増）、営業利益が15,537千円（前年同期は5,196千円の営業損失）となりました。

## ⑤文具事務用品卸事業

文具事務用品卸事業におきましては、ファイル等の定番商品に加え、日食メガネ等のタイムリーな商品を企画・販売することにより、売上が堅調に推移いたしました。収益面におきましては、仕入原価の高い商品の販売比率が高まったため、売上総利益が前期比で減少しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、968,657千円（前年同期比5.9%増）、営業利益は54,624千円（前年同期比18.2%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①財政状態の変動状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.6%減少し、5,687,782千円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金の減少（572,404千円）等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%増加し、4,912,975千円となりました。これは、主として投資有価証券の減少（59,900千円）等があったものの、土地の増加（303,425千円）、差入保証金の増加（55,352千円）等があったことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、10,600,758千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%減少し、5,114,727千円となりました。これは、主として短期借入金の増加(250,000千円)等があったものの、支払手形及び買掛金の減少(454,002千円)や未払金の減少(79,791千円)等があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、2,280,612千円となりました。これは、主として長期預り保証金の増加(37,705千円)等があったものの、長期借入金の減少(109,879千円)等があったことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、7,395,339千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、3,205,418千円となりました。これは、主として利益剰余金が18,964千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に発表いたしました平成25年3月期の連結業績予想(第2四半期累計及び通期)に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において新たに子会社を設立したことにより、克龍風速上海商貿有限公司を連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ○税金費用の計算

当第1四半期連結累計期間における税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算出しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法等の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,938,747	1,988,904
受取手形及び売掛金	2,581,071	2,008,666
商品	1,292,452	1,247,123
貯蔵品	2,414	2,402
繰延税金資産	149,643	149,643
その他	269,418	292,692
貸倒引当金	△8,267	△1,650
流動資産合計	6,225,480	5,687,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	942,548	936,353
土地	1,461,519	1,764,945
貸与資産(純額)	8,756	6,148
その他(純額)	92,633	70,372
有形固定資産合計	2,505,458	2,777,819
無形固定資産		
のれん	240,575	223,492
その他	50,332	47,916
無形固定資産合計	290,908	271,409
投資その他の資産		
投資有価証券	434,594	374,693
差入保証金	1,099,216	1,154,569
繰延税金資産	154,455	162,481
その他	171,699	172,752
貸倒引当金	△5,118	△750
投資その他の資産合計	1,854,847	1,863,747
固定資産合計	4,651,214	4,912,975
資産合計	10,876,694	10,600,758



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,507,392	1,053,389
短期借入金	1,950,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	579,499	543,189
未払金	637,668	557,876
未払法人税等	95,850	59,343
賞与引当金	193,493	239,513
その他	377,510	461,413
流動負債合計	5,341,415	5,114,727
固定負債		
長期借入金	1,061,150	951,270
退職給付引当金	167,628	166,450
役員退職慰労引当金	7,825	8,080
長期預り保証金	832,797	870,503
資産除去債務	92,123	91,047
繰延税金負債	4,637	—
その他	186,104	193,261
固定負債合計	2,352,267	2,280,612
負債合計	7,693,682	7,395,339
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	255,157	255,157
資本剰余金	315,278	315,278
利益剰余金	2,702,173	2,721,138
自己株式	△404,136	△404,153
株主資本合計	2,868,472	2,887,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,639	135,738
その他の包括利益累計額合計	132,639	135,738
新株予約権	2,482	—
少数株主持分	179,416	182,259
純資産合計	3,183,011	3,205,418
負債純資産合計	10,876,694	10,600,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,960,020	5,755,649
売上原価	3,727,346	4,395,196
売上総利益	1,232,674	1,360,452
販売費及び一般管理費	980,405	1,209,263
営業利益	252,268	151,188
営業外収益		
受取利息	171	178
受取配当金	2,068	2,635
固定資産売却益	948	635
貸倒引当金戻入額	14,769	566
その他	4,586	3,534
営業外収益合計	22,544	7,550
営業外費用		
支払利息	7,256	7,566
固定資産売却損	133	—
固定資産除却損	156	—
その他	898	143
営業外費用合計	8,445	7,709
経常利益	266,368	151,030
特別利益		
固定資産売却益	92	—
新株予約権戻入益	—	2,482
特別利益合計	92	2,482
特別損失		
固定資産除却損	526	475
投資有価証券評価損	—	50,403
賃貸借契約解約損	—	2,380
特別損失合計	526	53,260
税金等調整前四半期純利益	265,934	100,252
法人税等	115,759	61,501
少数株主損益調整前四半期純利益	150,174	38,751
少数株主利益	15,751	5,361
四半期純利益	134,423	33,390

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	150,174	38,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,155	3,018
その他の包括利益合計	1,155	3,018
四半期包括利益	151,330	41,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,557	36,488
少数株主に係る四半期包括利益	15,772	5,281

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメン テナンス 事業	飲食店舗 居抜き 流通事業	文具事務 用品卸事業	
売上高						
外部顧客への売上高	2,389,239	497,658	808,035	350,080	915,007	4,960,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	42,179	699	—	—	42,878
計	2,389,239	539,838	808,734	350,080	915,007	5,002,899
セグメント利益又は 損失(△)	146,280	32,782	26,835	△5,196	66,811	267,514

	その他 (注1)	合計
売上高		
外部顧客への売上高	—	4,960,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	42,878
計	—	5,002,899
セグメント利益又は 損失(△)	△112	267,401

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社クロップス・メディコムに関するものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	267,514
「その他」の区分の損失(△)	△112
セグメント間取引消去	1,950
のれん償却額	△17,082
四半期連結損益計算書の営業利益	252,268

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメン テナンス 事業	飲食店舗 居抜き 流通事業	文具事務 用品卸事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,062,245	459,092	863,412	402,323	968,574	5,755,649
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	55,712	515	—	82	56,310
計	3,062,245	514,804	863,927	402,323	968,657	5,811,959
セグメント利益	55,852	13,841	26,465	15,537	54,624	166,321

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	166,321
セグメント間取引消去	1,950
のれん償却額	△17,082
四半期連結損益計算書の営業利益	151,188

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。